

油分ナノ分解微生物栄養剤（Kiso-レビエント）の使用方法

○目的：土壌・地下水の油汚染の浄化に使用します。

○対象：燃料油

○推奨する浄化工法

Kiso-レビエントは、NETIS 登録技術番号 KT-180001-A「土壌・地下水の油汚染自動浄化工法（3N注入工法）」で使用する認定浄化剤として開発しましたが、下記の浄化工法にも利用できます。

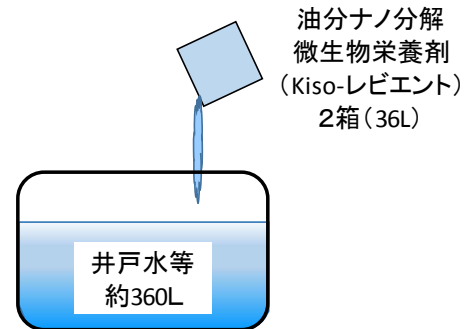
工 法	内 容
3N注入工法	油分ナノ分解微生物栄養剤＋ナノバブル水の地盤注入による浄化
ランドファーマーミング	油分ナノ分解微生物栄養剤の混合攪拌による浄化
浄化液地盤浸透	油分ナノ分解微生物栄養剤の地盤注入による浄化

○簡単な使用例：ランドファーマーミングまたは浄化液注入

〔約 20m³の油含有土壌を浄化する場合の例〕

- ・使用機材：農業用タンク等、ポンプ、散水ホース、敷き鉄板、ショベルカー等
- ・使用資材：井戸水等、油分ナノ分解微生物栄養剤（Kiso-レビエント）20箱

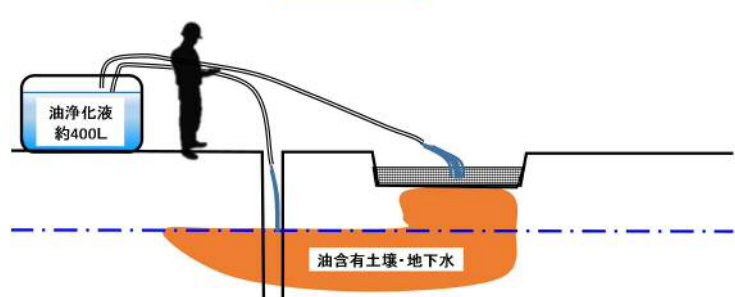
- ① 井戸水 300L の入った農業用タンクまたは
ノッチタンク等に、油分ナノ分解微生物栄養剤
（Kiso-レビエント）2箱（36L）を添加・
かく拌し油分解浄化液を作ります。
※水道水の場合は、カルキ中和剤（ハイポ等）
を入れます。



- ② 油分解浄化液を掘削した油含有
土壌約 20m³にまき、混合・攪拌
するか、または原位置の油含有地
盤に混合・攪拌します。



- ③ 油分解浄化液をボーリング孔や
ピットから地下に注入すると油含有
土壌及び地下水を浄化する効果が
あります。



○浄化効果：

- 油臭や油膜は、数 10 分～数時間でなくなります。
- 油分は、しだいに含有量が低下し、数ヶ月間で水と二酸化炭素に分解し浄化します。

○留意点：

- 油分の含有量によって浄化の速さは異なります。（含有量が多いほど遅くなります。）
- 油種によって浄化速さは異なります。（ガソリン・灯油・軽油・重油の順に遅くなります。）
- 古い油では、粘度によって浄化速さは異なります。（粘度が大きいほど遅くなります。）
- 気温および水温によって浄化速さは異なります。（夏、春秋、冬の順に遅くなります。）
※冬季は、温水の浄化液を注入するなど、浄化速さを上げることもあります。
- 油分の浄化効果は、含有量、油種、粘度、温度等によって異なりますので、1回の浄化作業で浄化が完了しないこともあり、2回目以降の浄化作業が必要になる場合もあります。